



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名
 コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 藤沢 政俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 企画・管理部 (氏名) 渡辺 文明 TEL 026-285-4101
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	133,955	3.6	1,195	27.8	1,505	20.0	880	17.6
26年3月期第3四半期	129,274	4.5	935	△10.3	1,254	△7.6	748	9.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,145百万円 (33.5%) 26年3月期第3四半期 857百万円 (37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	38.19	—
26年3月期第3四半期	32.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	53,823	18,734	34.3
26年3月期	37,726	17,783	46.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 18,453百万円 26年3月期 17,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	1.6	1,075	21.4	1,450	11.9	700	23.7	30.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	23,121,000株	26年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	66,467株	26年3月期	66,311株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	23,054,597株	26年3月期3Q	23,055,038株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀による金融・財政政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。消費税率引き上げの影響等により生活必需品を中心に個人消費の低迷が続くなど、依然として先行き不透明な状況にあります。食品流通業界におきましては、円安等による輸入原材料価格の上昇やエネルギーコストの増加、人手・車両不足等を起因とする物流コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今年度を初年度とする中期経営計画「変革2016～Challenge for Change～」に基づき、事業戦略の推進による収益拡大と事業構造改革に取り組んでおります。

収益拡大に向けましては、商品企画、原材料の調達から商品供給までの各工程に関わり、付加価値を高めたオリジナル開発商品などの「強い商品」と、生鮮基軸の地域密着型フルライン機能などの「強い機能」を最大限に活かし、販売マーケットの拡大と基盤商圏の深耕化を進めております。

事業構造改革の推進に向けましては、当社グループの商流・物流・情報流を支える基盤「M-tops（マルイチ・トータル・プラットフォーム・システム）」の構築を進め、受発注業務の効率化や拠点機能の再編などに取り組んでおります。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,339億55百万円（前年同期比3.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益11億95百万円（前年同期比27.8%増）、経常利益15億5百万円（同20.0%増）、四半期純利益8億80百万円（同17.6%増）となりました。

[セグメント別の概況]

※ 各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

売上高 923億83百万円（前年同期比1.5%増）
営業利益 7億29百万円（前年同期比30.4%増）

売上高につきましては、戦略魚種でありますサンマ、マグロ、ブリ等の売上が堅調に推移したことに加え、フルアソート調達による全業種・業態への販売展開や、洋日配・和日配のオリジナル開発商品の販売拡大、フードサービス事業における業務用チャンネルの販路拡大により、前年同期に対して13億26百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、円安等による仕入価格上昇の影響を受けましたが、売上高の拡大に伴う売上総利益額の増加により、前年同期に対して1億70百万円の増益となりました。

<一般食品事業セグメント>

売上高 196億43百万円（前年同期比1.0%増）
営業利益 27百万円（前年同期比47.4%減）

売上高につきましては、長野県を中心とする基盤商圏の地域小売業との取り組み強化によるマーケットの深耕化と、長野県産の原材料を使用した当社オリジナル開発商品の県内外への拡売により、前年同期に対して1億94百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、業務効率化による生産性向上など、収益力の強化に取り組んだものの、店頭における業態・業種を超えた低価格競争激化の影響等により、前年同期に対して24百万円の減益となりました。

<畜産事業セグメント>

売上高 215億22百万円（前年同期比17.7%増）
営業利益 3億75百万円（前年同期比26.7%増）

売上高につきましては、畜産物全般の相場が前年同期を上回る水準で推移する中、畜産品の需要が堅調だったことに加え、生産者との取り組みによる強い商品力と調達力を活かし、首都圏エリアを中心に新規顧客への販売を拡大したことから、前年同期に対して32億37百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大により売上総利益額が増加したことから、前年同期に対して79百万円の増益となりました。

<その他(小売店の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業)>

売上高 4億5百万円(前年同期比16.3%減)
営業利益 63百万円(前年同期比127.6%増)

子会社でありますA E S(株)による小売店の店舗支援事業と、同マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)による物流業務・冷蔵倉庫事業について、グループ内の各事業との組織的な連携強化を進め、売上高は4億5百万円、営業利益は63百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は538億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して160億96百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が15億56百万円、受取手形及び売掛金が115億61百万円、商品及び製品が20億43百万円増加したことによります。

負債は350億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して151億46百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が141億74百万円、流動負債その他が10億52百万円増加したことによります。

純資産合計は187億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億50百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の46.5%から34.3%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、これらの変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,351	5,908
受取手形及び売掛金	13,053	24,614
商品及び製品	2,740	4,784
仕掛品	9	8
原材料及び貯蔵品	66	103
その他	2,068	3,025
貸倒引当金	△150	△323
流動資産合計	22,139	38,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,396	3,263
土地	7,639	7,638
その他(純額)	754	781
有形固定資産合計	11,791	11,683
無形固定資産		
のれん	131	98
その他	172	135
無形固定資産合計	303	234
投資その他の資産		
投資有価証券	1,946	2,334
その他	1,640	1,555
貸倒引当金	△95	△106
投資その他の資産合計	3,491	3,783
固定資産合計	15,586	15,700
資産合計	37,726	53,823
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,780	27,954
短期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	220	369
賞与引当金	457	259
その他	1,922	2,975
流動負債合計	17,880	33,059
固定負債		
役員退職慰労引当金	220	241
債務保証損失引当金	87	87
退職給付に係る負債	984	950
資産除去債務	80	81
その他	690	669
固定負債合計	2,062	2,029
負債合計	19,943	35,089

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	10,487	11,183
自己株式	△53	△53
株主資本合計	17,533	18,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215	438
退職給付に係る調整累計額	△222	△215
その他の包括利益累計額合計	△7	223
少数株主持分	256	280
純資産合計	17,783	18,734
負債純資産合計	37,726	53,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	129,274	133,955
売上原価	117,041	120,947
売上総利益	12,233	13,007
販売費及び一般管理費	11,298	11,811
営業利益	935	1,195
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	64	62
受取賃貸料	136	146
その他	130	131
営業外収益合計	334	342
営業外費用		
支払利息	6	6
固定資産除却損	3	12
貸倒引当金繰入額	1	—
その他	3	13
営業外費用合計	15	32
経常利益	1,254	1,505
特別利益		
投資有価証券売却益	24	43
特別利益合計	24	43
税金等調整前四半期純利益	1,278	1,549
法人税、住民税及び事業税	356	590
法人税等調整額	146	44
法人税等合計	502	634
少数株主損益調整前四半期純利益	775	914
少数株主利益	26	34
四半期純利益	748	880

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	775	914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	223
退職給付に係る調整額	—	7
その他の包括利益合計	82	230
四半期包括利益	857	1,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	830	1,111
少数株主に係る四半期包括利益	26	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,056	19,448	18,285	128,790	483	129,274	—	129,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	2,587	2,589	△2,589	—
計	91,056	19,450	18,285	128,792	3,071	131,864	△2,589	129,274
セグメント利益	559	51	296	907	27	935	—	935

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
 2. セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	92,383	19,643	21,522	133,549	405	133,955	—	133,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	2,538	2,539	△2,539	—
計	92,383	19,645	21,522	133,551	2,943	136,494	△2,539	133,955
セグメント利益	729	27	375	1,132	63	1,195	—	1,195

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
 2. セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。